

## (2) 挨拶

第五世代コンピュータ国際会議実行委員会  
委員長 相磯 秀夫

皆さん、お早うございます。

本国際会議実行委員会、委員長を仰せつかっております慶応大学相磯秀夫です。

まず、実行委員会を代表しまして、「第五世代コンピュータ国際会議FGCS'88」にご参加頂きました皆様方に心より、歓迎と感謝の意を表する次第です。

先程、三田理事長のご挨拶にございましたように、今回の会議は1981年10月の「FGCS'81」、1984年11月の「FGCS'84」に続く第3回目の第五世代コンピュータに関する国際会議です。

「FGCS'81」では、第五世代コンピュータの研究開発に対する日本の計画をご紹介申し上げ、諸外国のご理解とご協力を要請致しました。この会議はその後大きな影響を世に与え、多くの国に類似の研究開発プロジェクトを誕生させる契機になりました。

1984年の「FGCS'84」では1982年4月に発足を致しました日本第五世代コンピュータ研究開発プロジェクトの計画の説明と実質的に研究開発を担当しております新世代コンピュータ技術開発機構、ICOTに於ける前期2年半の研究成果の公開を中心に、国内外に於ける最先端の研究報告がありました。この会議は第五世代コンピュータ研究開発の重要性を認識すると共に、研究促進の具体的な方策を世に示したという意味で、大きな意義があったと確信しております。

ICOTに於ける前期3年の研究開発の推進、並びに過去2回の国際会議の実行は、東京大学工学部教授元岡達先生のご指導の下で行われましたが、元岡先生は1985年11月、残念乍ら、目

的達成を半ばに逝去されました。その後及ばずながら私が元岡教授の役割の一端を勤めると共に、ICOTに於きましても、元岡先生のご遺志を引き継ぎ、積極的な研究開発に打ち込み、今日に至っております。

過去2回の国際会議を経験致しまして気付くことは、このFGCS国際会議は次の点で大変ユニークな性質を持っているということです。

それらの第1点は、大変質の高い論文が多数の国から投稿されるということです。

第2点目は、世界中の一流の研究技術者が会議の為に積極的に協力をして頂き、多くの方がこの会議に出席して頂いているという事実です。

第3点目は、この会議にはコンピュータサイエンスの専門研究者はもとより、異分野の研究者、並びに研究開発プロジェクト関係者、そして政府要人など、多方面からの参加者がある、大変学際的な国際会議に発展しているということです。

第4点目は、会議参加者の間で立場を超えた積極的な意見交換が行われているという事実です。

更に第5点目は、この会議程世界中から注目をされている国際会議はないということです。

このことは取りも直さず、第五世代コンピュータに関する研究が情報科学の学問分野、並びに高度情報社会における諸問題解決の為に最も重要な役割を果たしつつあるということをも物語っているのではないのでしょうか。

今回の「FGCS'88」では、IOCTに於ける6年半にわたる基礎研究の積み重ねの成果を会議

参加者の皆様方に、評価して頂くと同時に、後期研究計画に対するご批判を受け賜りたいと考えております。加えて国内外からの応募論文の発表を通しまして、第五世代コンピュータに関する最先端の研究状況をご理解頂き、意見の交換の場を提供したいと考えております。

そのために、ICOTに於ける主要な研究成果をデモンストレーションの形で会議参加者の皆様にご覧頂くことになっております。このような充実した最先端技術のデモンストレーションはいままでの国際会議にも見られなかった全く新しい試みであると同時に、研究成果のご理解の一助になると私共は自負しております。どうぞ、ごゆっくりデモンストレーションをご覧頂きたいと思っております。

また、国際的な研究活動の状況の把握と、将来の研究課題の予測を容易にするためにも、第一線で活躍する一流の研究者による招待講演や、パネル討論などを計画しております。更に会議参加者の懇親を深める為にも、今晚のレセプション、12月1日夜のバンケットも準備しております。

かつて故元岡達教授が提唱されましたように「発展の為の競争と協和」、その時代がいまや到来しております。究極の資源とも言うべき「人間の叡知」を結集して、その実証とより豊かな社会の実現を目指していきたいと、私共は考えております。この「FGCS'88」の機会が会議参加者の皆さんにとって、積極的な議論と実り多い有意義な意見交換の場になって欲しいと、私は期待しております。

最後になりましたが、本会議に参加されました皆様方に、実行委員長として改めて心から感謝申し上げます。また「FGCS'88」の計画と推進に尽力されました実行委員、魅力的なプログラム作成の為に多大の努力を払われましたプログラム委員、国内外の多数の論文査読者、研究開発のデモンストレーションの為に日夜努力されましたICOT研究者並びに協力関係者、会議の円滑な運用に陰ながら尽力されました事務局、そして会議開催の為に多大のご支援を賜りました関係諸機関の皆様方に、厚く御礼を申し上げます。次第です。

どうも、ありがとうございました。